

防コミの歩き方



ジュニア防災チームの一番長い日



●東灘区ジュニア防災チーム

東灘区には魚崎・向洋・住吉・本庄の各中学校にジュニア防災チーム(少年消防クラブ)があり、各防災福祉コミュニティの指導の下、活動しています。そんなジュニア防災チームたちにとって1月28日(日)は、とても長い1日となりました。

午前には東灘 13 防コミが主催し、26 回目となる「東灘市民放水大会」に参加しました。

住吉川に4チーム42名がずらりと並び、対岸の参加者に向けて「誓いの言葉」を斉唱した姿は壮観でした。

●東灘市民放水大会「誓いの言葉」

「誓いの言葉。今から29年前、神戸の町を、とても大きな地震が襲いました。地震によって、たくさんの建物が壊れ、たくさんの命が失われました。私たちは神戸の町で穏やかに暮らし、今、ここに立っています。それでも私たちは、この暮らしが当たり前でないことを知っています。だからこそ！私たちは神戸の町を復興してくれた方々に感謝します。穏やかな毎日が変わらず訪れてくれることに感謝します。生まれてきたことに感謝していることに感謝します。周りで支えてくれる、たくさんの人たちに感謝します。

私たち人間は自然災害が起こるのを止めることはできません。自然の力に対して人間1人の力

は、とても無力です。それでも！私たちが力を合わせれば1人ではできないことができます。私たちが力を合わせれば被害を小さくすることができます。私たちは災害が起こっても慌てずに行動することを誓います。私たちは力を合わせて自分たちの町を守ることを誓います。そして！自分の命を大切にすることを、周りの人の命を大切にすることを、地域のつながりを大切にすることを、今、この瞬間を大切に生きることを、みんなが笑い合い助け合う未来にすることを、私たちジュニア防災チームは若い世代を代表して、ここに誓います！」

●兵庫県少年少女消防クラブ交流大会

午後には日頃の消防活動を取り入れた訓練成果を競い合う「兵庫県少年少女消防クラブ交流大会」が開催され、東灘区からは魚崎と向洋の2クラブ4チームが出場しました。

2種類の競技に各チームとも全力を尽くして挑んだ結果、見事、魚崎Aチームが優勝を果たしました。

午前・午後どちらの大会も、参加したメンバーは昨年からの練習や訓練を重ねて当日を迎えました。それぞれの貴重な経験を今後の人生の糧としてくれることを期待します。(東灘消防署消防防災課 樋口貴洋)